

2. 調査結果（単純集計）

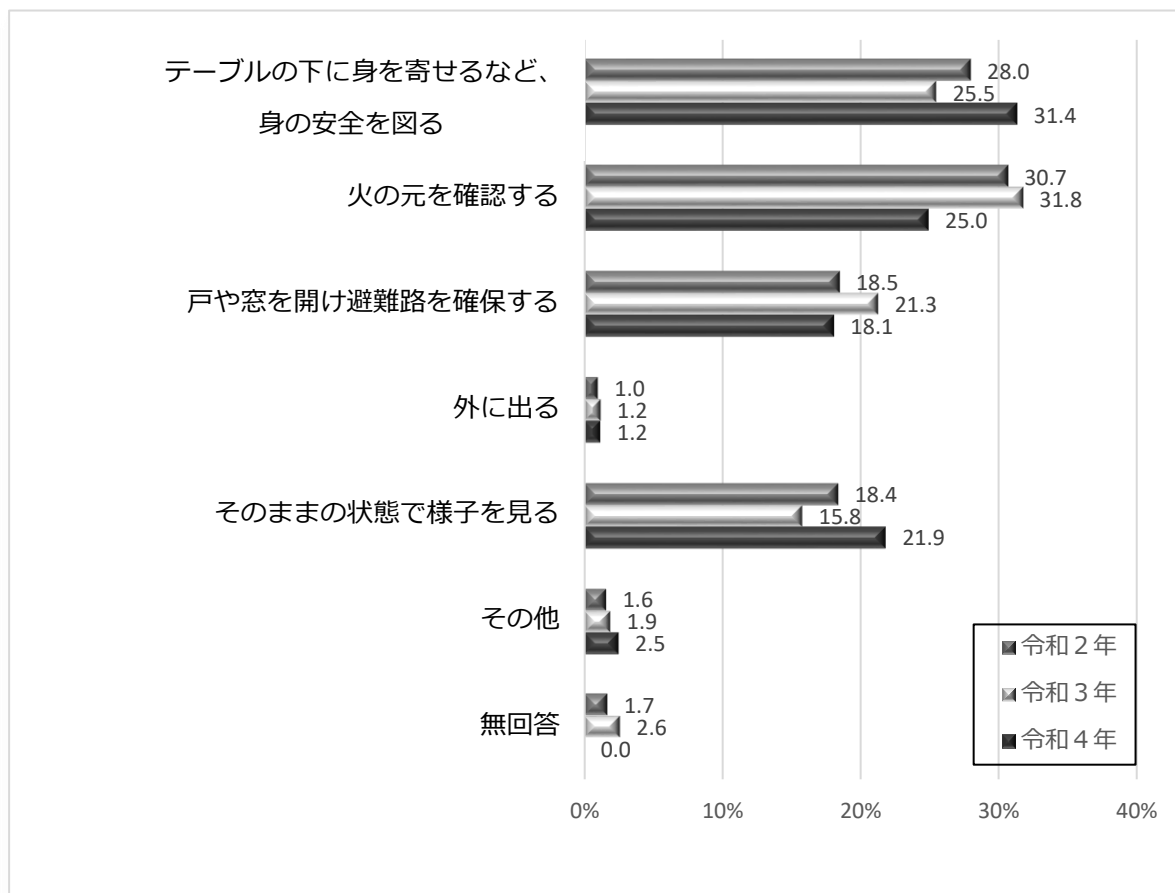
(1) 地震に関すること

■大地震発生時の行動等について

Q1 あなたが家にいる時、揺れを感じました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。（※1）

	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,679)
テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る	28.0	25.5	31.4
火の元を確認する	30.7	31.8	25.0
戸や窓を開け避難路を確保する	18.5	21.3	18.1
外に出る	1.0	1.2	1.2
そのままの状態様子を見る	18.4	15.8	21.9
その他	1.6	1.9	2.5
無回答	1.7	2.6	0.0

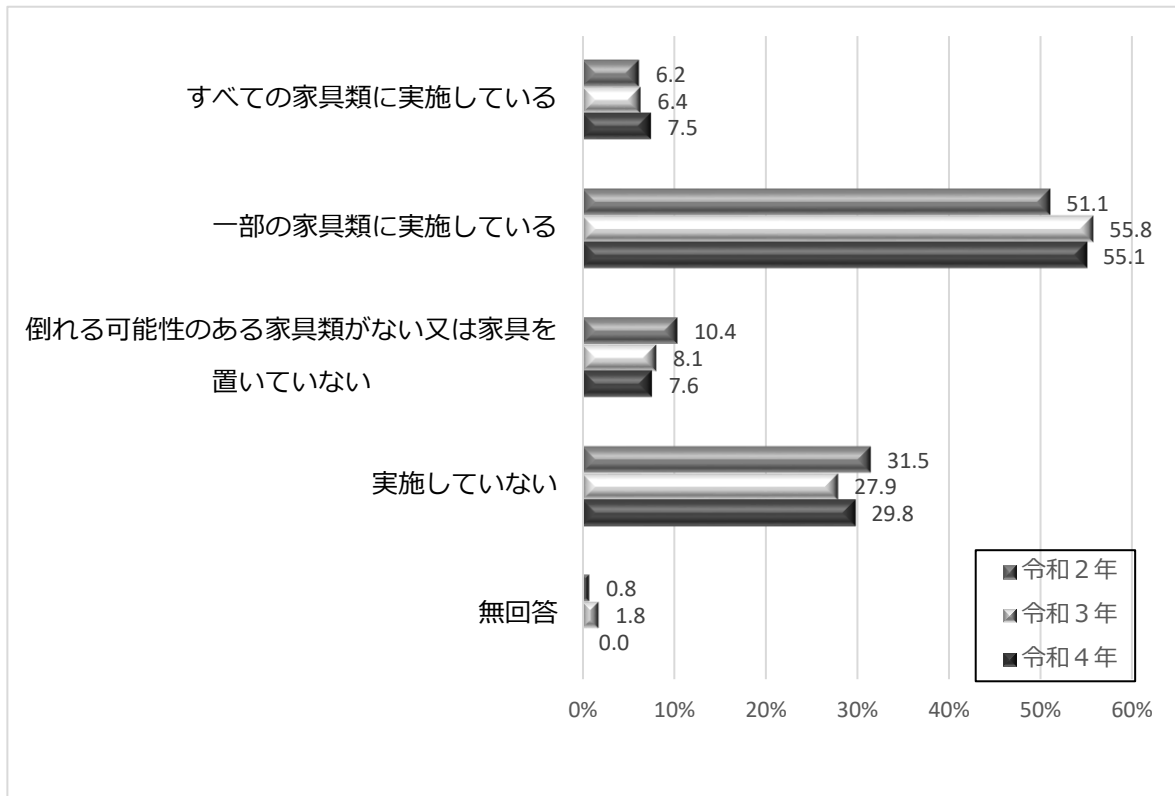
（※1）令和3年の設問、「あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな地震が発生することを知らせる緊急地震速報がテレビやスマートフォンから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。」



■ 家庭での地震に対する備えについて

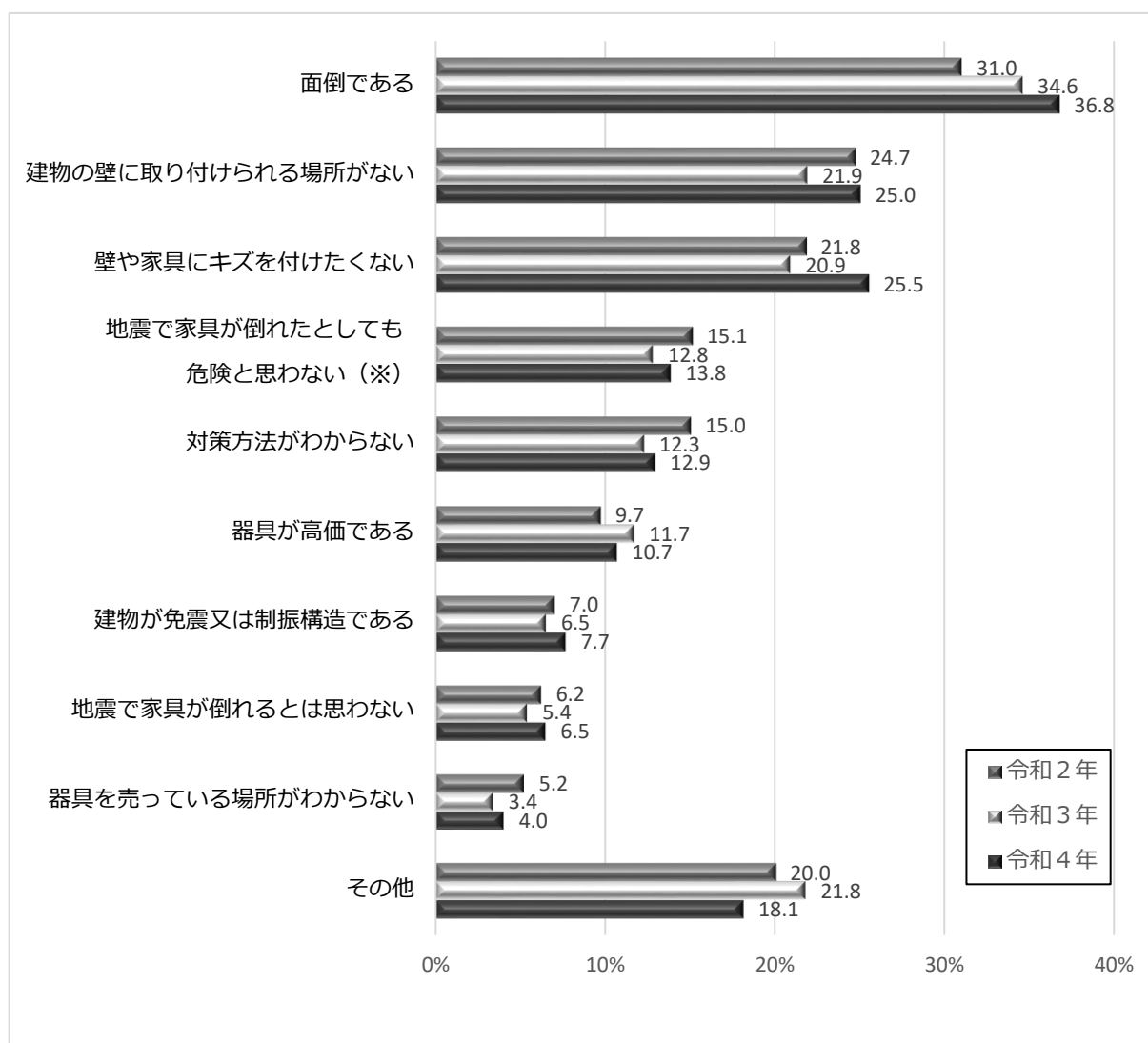
Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,679)
すべての家具類に実施している	6.2	6.4	7.5
一部の家具類に実施している	51.1	55.8	55.1
倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない	10.4	8.1	7.6
実施していない	31.5	27.9	29.8
無回答	0.8	1.8	0.0



Q3 Q2で「一部の家具類に実施している」又は「実施していない」を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和2年 (n=1,456)	令和3年 (n=1,569)	令和4年 (n=1,423)
面倒である	31.0	34.6	36.8
建物の壁に取り付けられる場所がない	24.7	21.9	25.0
壁や家具にキズを付けたくない	21.8	20.9	25.5
地震で家具が倒れたとしても危険と思わない(※)	15.1	12.8	13.8
対策方法がわからない	15.0	12.3	12.9
器具が高価である	9.7	11.7	10.7
建物が免震又は制振構造である	7.0	6.5	7.7
地震で家具が倒れるとは思わない	6.2	5.4	6.5
器具を売っている場所がわからない	5.2	3.4	4.0
その他	20.0	21.8	18.1



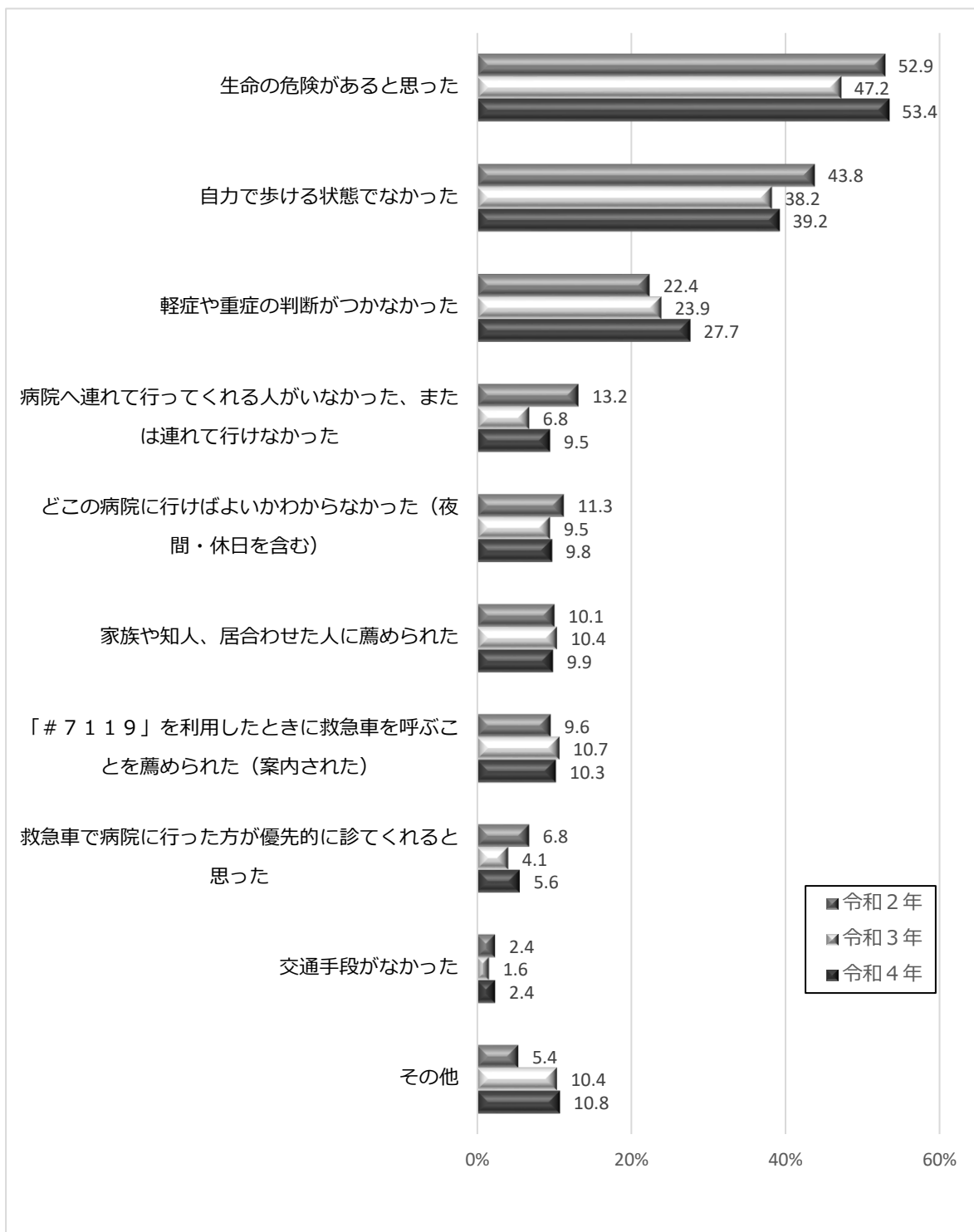
(2) 救急に関すること

■今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方について

Q4 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

	令和2年 (n=874)	令和3年 (n=882)	令和4年 (n=788)
生命の危険があったと思った	52.9	47.2	53.4
自力で歩ける状態でなかった	43.8	38.2	39.2
軽症や重症の判断がつかなかった	22.4	23.9	27.7
病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった	13.2	6.8	9.5
どこの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）	11.3	9.5	9.8
家族や知人、居合わせた人に薦められた	10.1	10.4	9.9
「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められ（案内された）	9.6	10.7	10.3
救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った	6.8	4.1	5.6
交通手段がなかった	2.4	1.6	2.4
その他	5.4	10.4	10.8

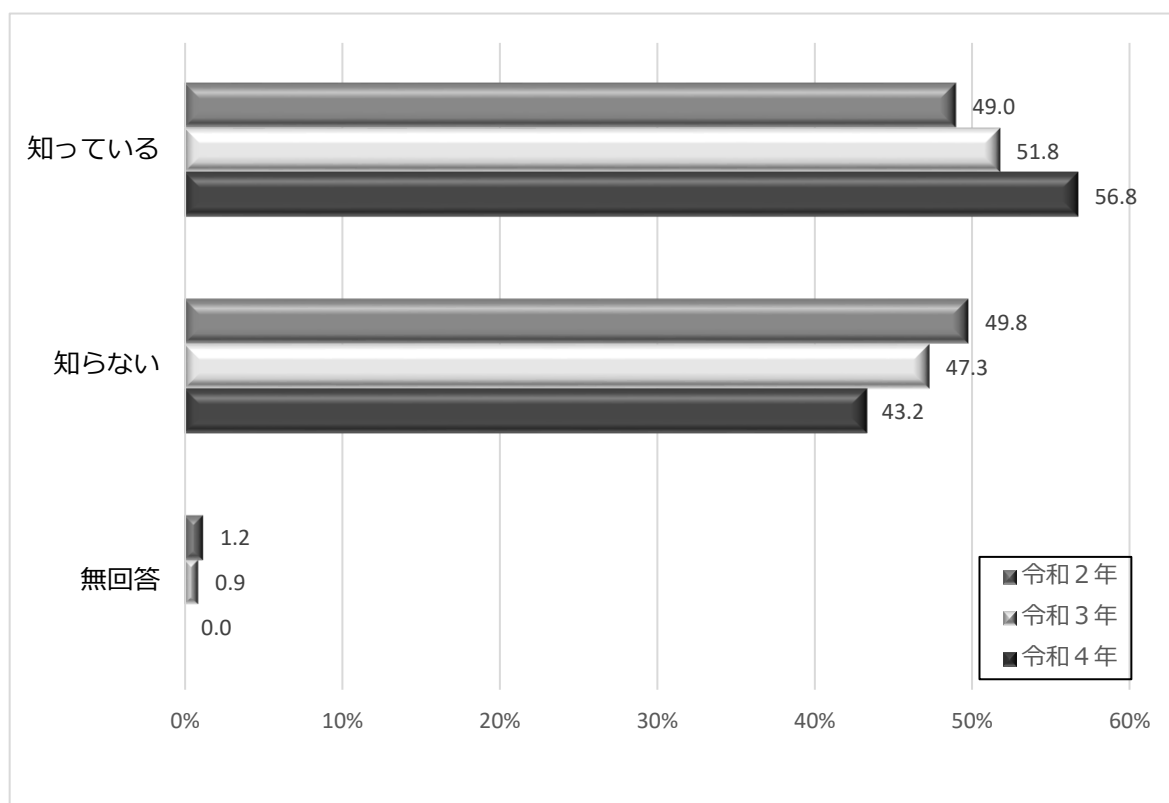
	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,673)
救急車を呼んだことはない	51.0	52.9	52.9



■「東京消防庁救急相談センター」及び「東京版救急受診ガイド」に関することについて

Q5 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「#7119[※]」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,679)
知っている	49.0	51.8	56.8
知らない	49.8	47.3	43.2
無回答	1.2	0.9	0.0

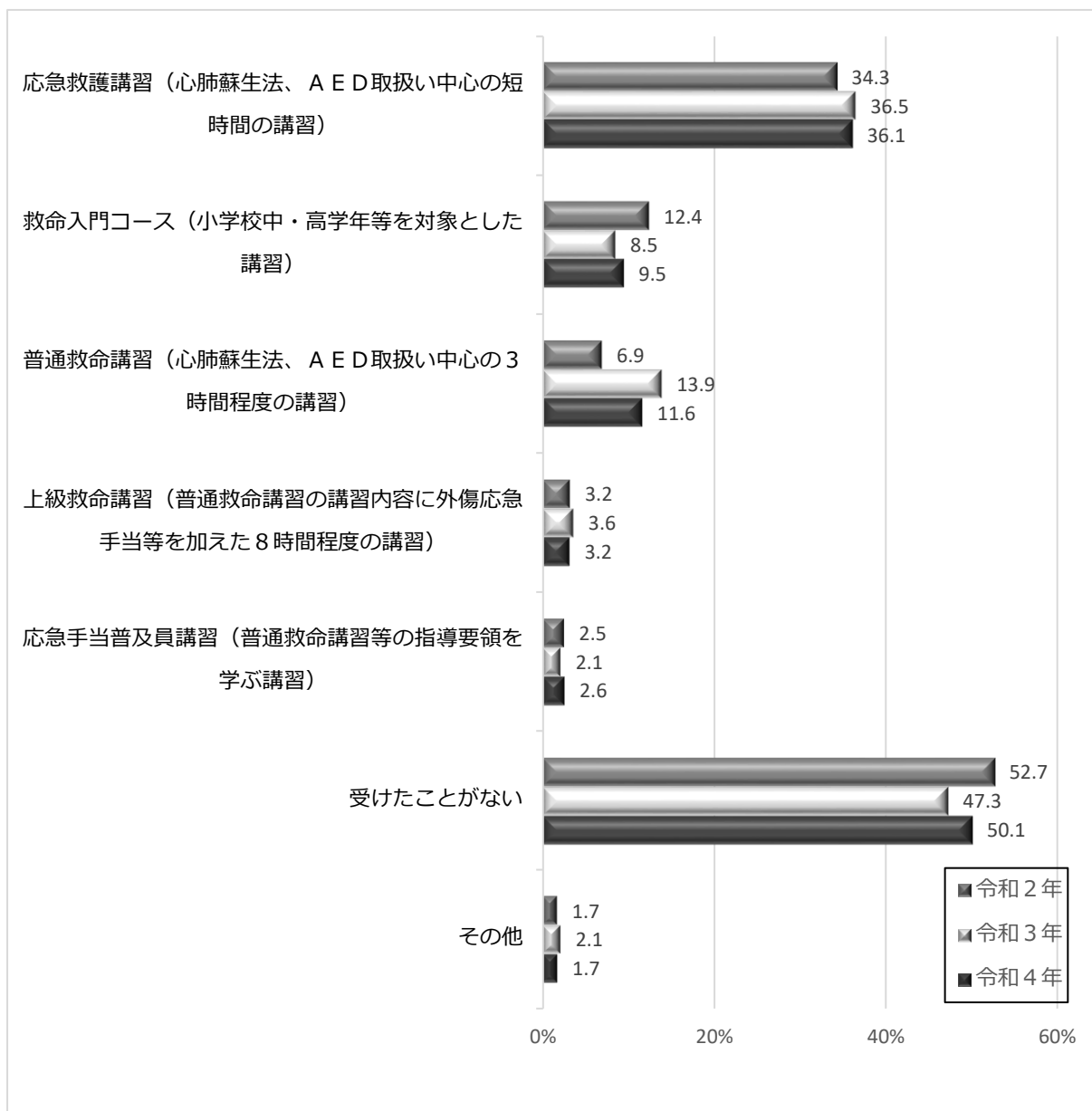


※「#7119」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京消防庁救急受診ガイド」を総称したものです。

■ 応急手当について

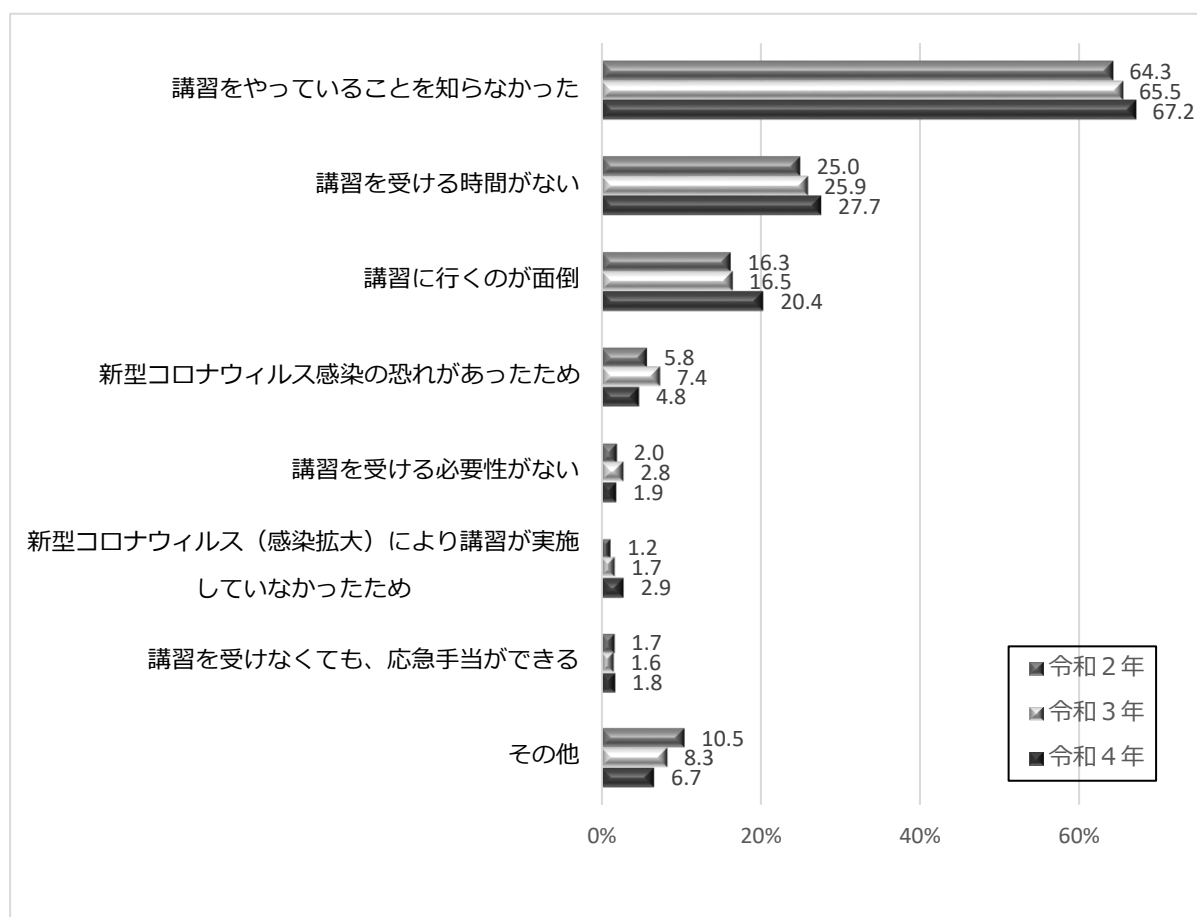
Q6 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和2年 (n=1,775)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,678)
応急救護講習(心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習)	34.3	36.5	36.1
救命入門コース(小学校中・高学年等を対象とした講習)	12.4	8.5	9.5
普通救命講習(心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習)	6.9	13.9	11.6
上級救命講習(普通救命講習の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習)	3.2	3.6	3.2
応急手当普及員講習(普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習)	2.5	2.1	2.6
受けたことがない	52.7	47.3	50.1
その他	1.7	2.1	1.7



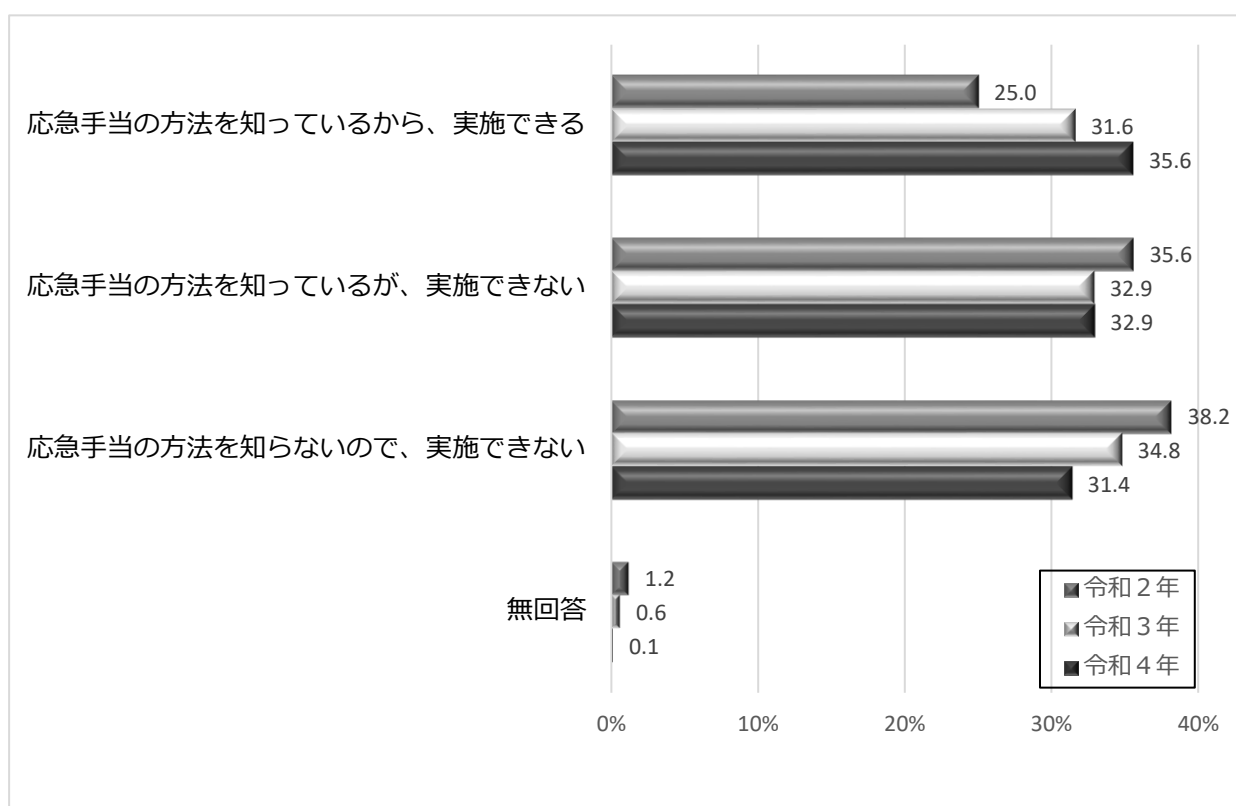
Q7 Q6で「受けたことがない」を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けない理由を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和2年 (n=928)	令和3年 (n=887)	令和4年 (n=838)
講習をやっていることを知らなかった	64.3	65.5	67.2
講習を受ける時間がない	25.0	25.9	27.7
講習に行くのが面倒	16.3	16.5	20.4
新型コロナウイルス感染の恐れがあったため	5.8	7.4	4.8
講習を受ける必要性がない	2.0	2.8	1.9
新型コロナウイルスにより講習が実施していなかったため	1.2	1.7	2.9
講習を受けなくても、応急手当ができる	1.7	1.6	1.8
その他	10.5	8.3	6.7



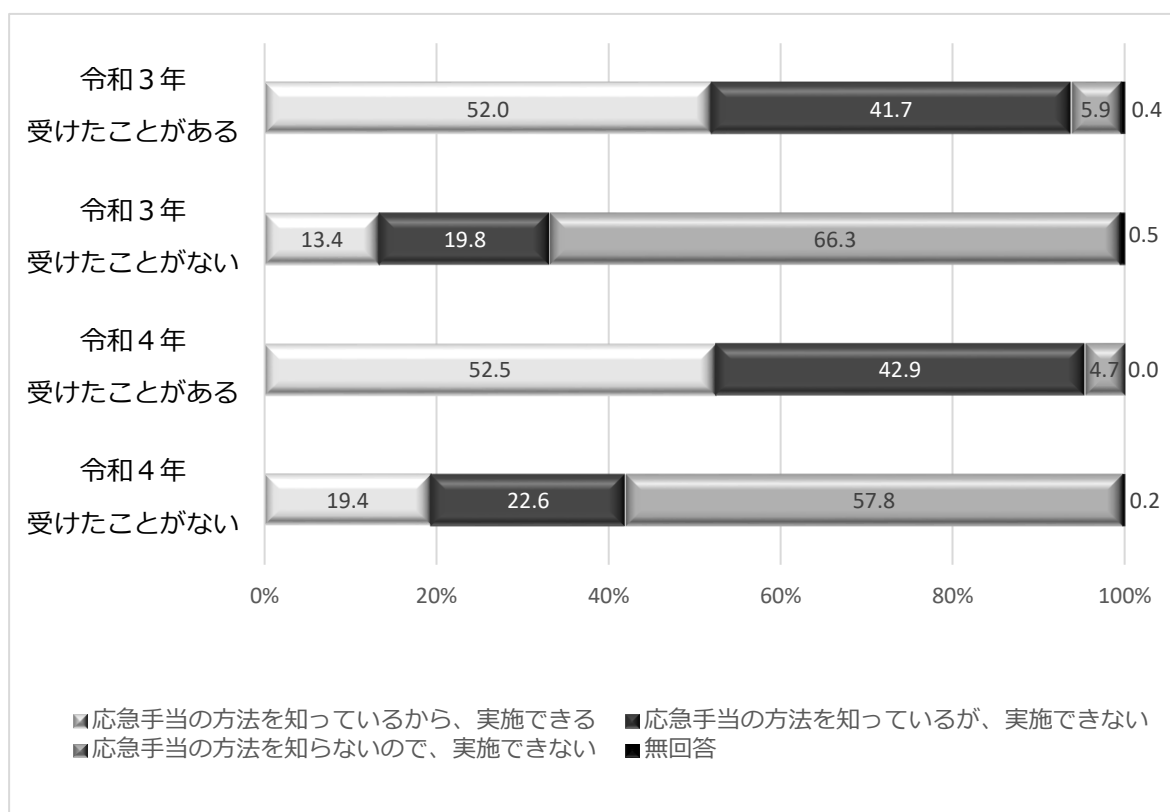
Q 8 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、A E D（自動体外式除細動器）のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,679)
応急手当の方法を知っているから、実施できる	25.0	31.6	35.6
応急手当の方法を知っているが、実施できない	35.6	32.9	32.9
応急手当の方法を知らないので、実施できない	38.2	34.8	31.4
無回答	1.2	0.6	0.1



【参考：応急手当講習の受講有無（Q6）毎の集計】

	令和3年 受けたこと がある (n=1,210) ※無回答5件	令和3年 受けたこと がない (n=887) ※無回答4件	令和4年 受けたこと がある (n=812) ※無回答0件	令和4年 受けたこと がない (n=839) ※無回答2件
応急手当の方法を知っているから、実施できる	52.0	13.4	52.5	19.4
応急手当の方法を知っているが、実施できない	41.7	19.8	42.9	22.6
応急手当の方法を知らないなので、実施できない	5.9	66.3	4.7	57.8
無回答	0.4	0.5	0.0	0.2

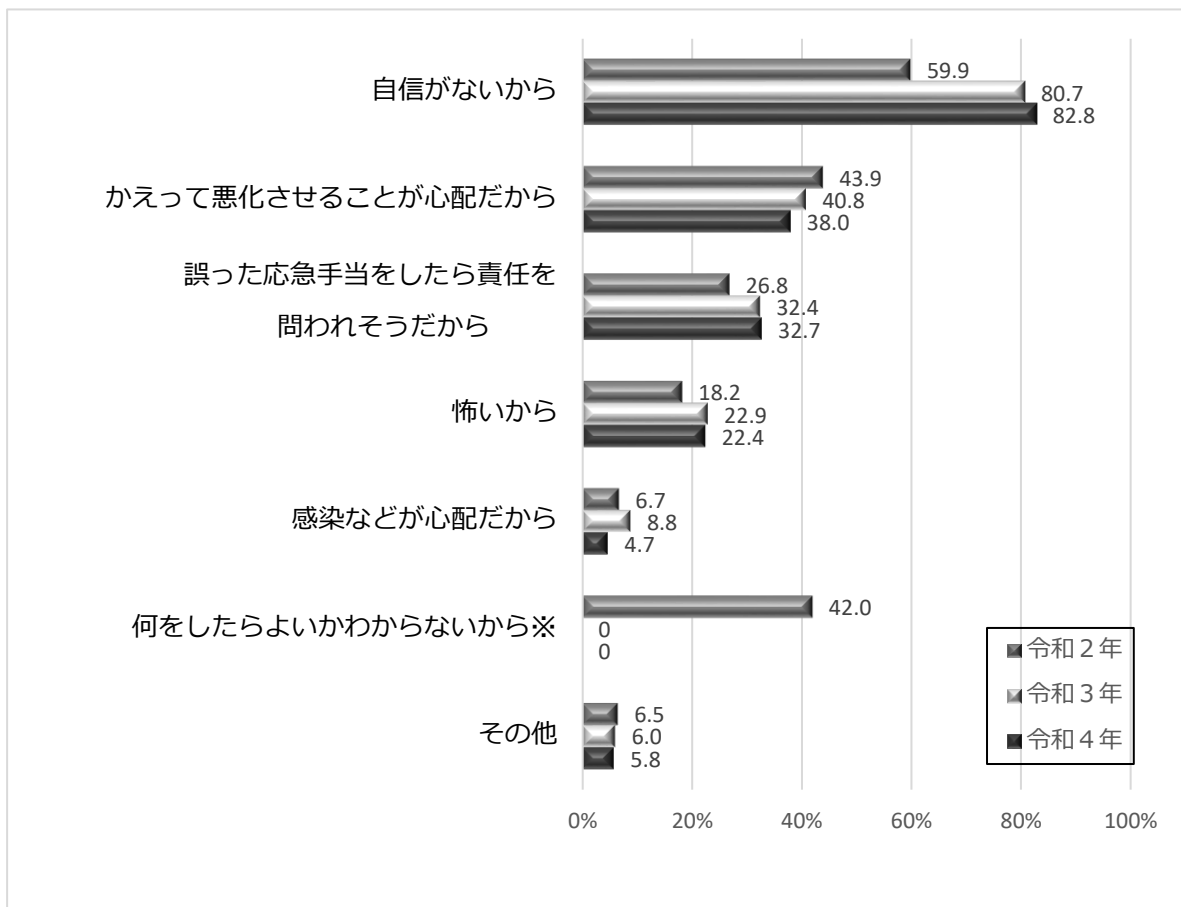


Q9 Q8で「応急手当の方法を知っているが、実施できない」を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当をできない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

※令和2年までは「Q8で「応急手当の方法を知っているが、実施できない」または「応急手当の方法を知らないの、実施できない」を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当をできない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。」という設問であった。

	令和2年 (n=1,311)	令和3年 (n=617)	令和4年 (n=553)
自信がないから	59.9	80.7	82.8
かえって悪化させることが心配だから	43.9	40.8	38.0
誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから	26.8	32.4	32.7
怖いから	18.2	22.9	22.4
感染などが心配だから	6.7	8.8	4.7
何をしたらよいかわからないから※	42.0	-	-
その他	6.5	6.0	5.8

※は令和2年のみの選択肢



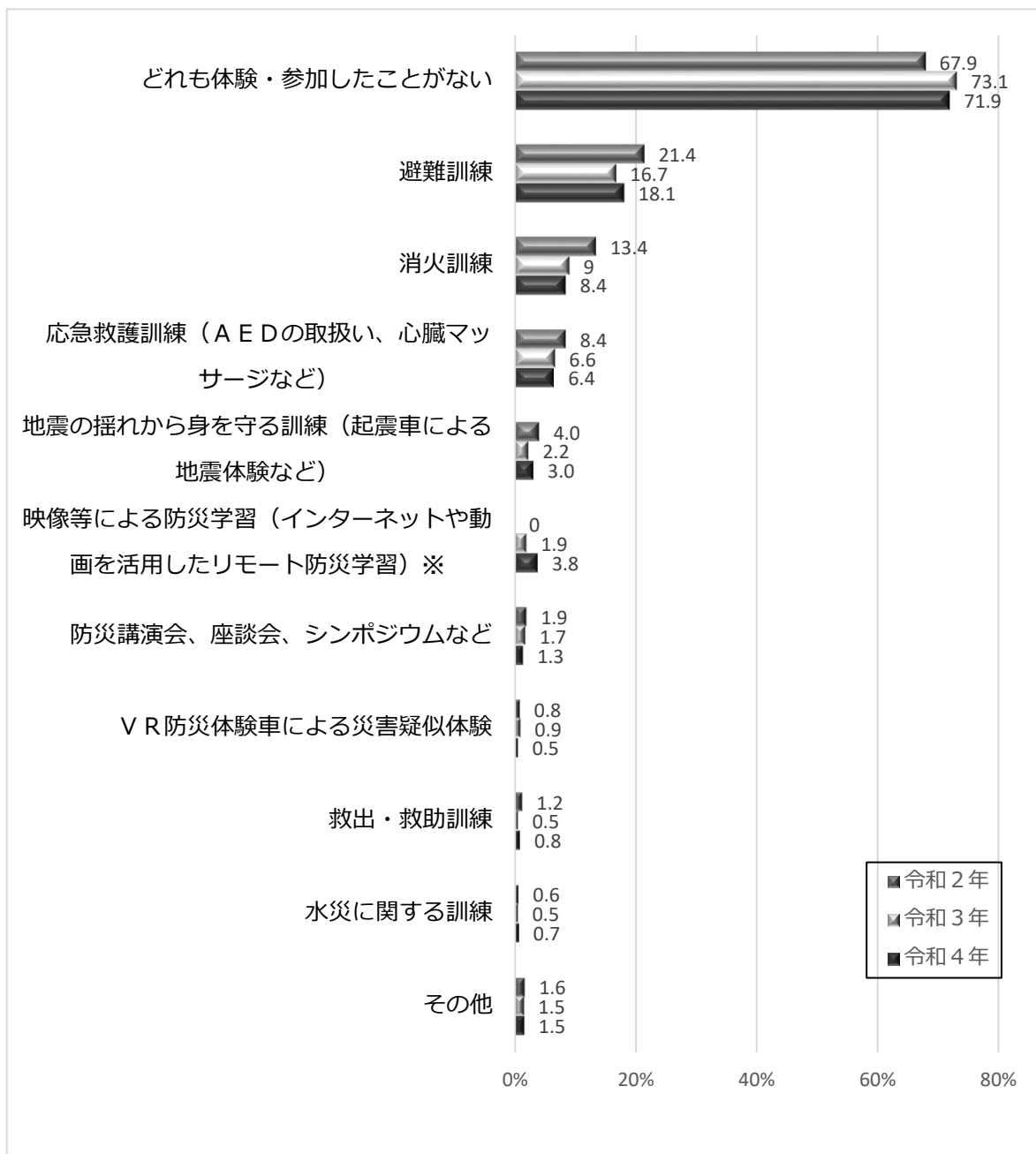
(3) 防災に関すること

■ 防火防災訓練などについて

Q10 あなたが最近1年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなど
はありますか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

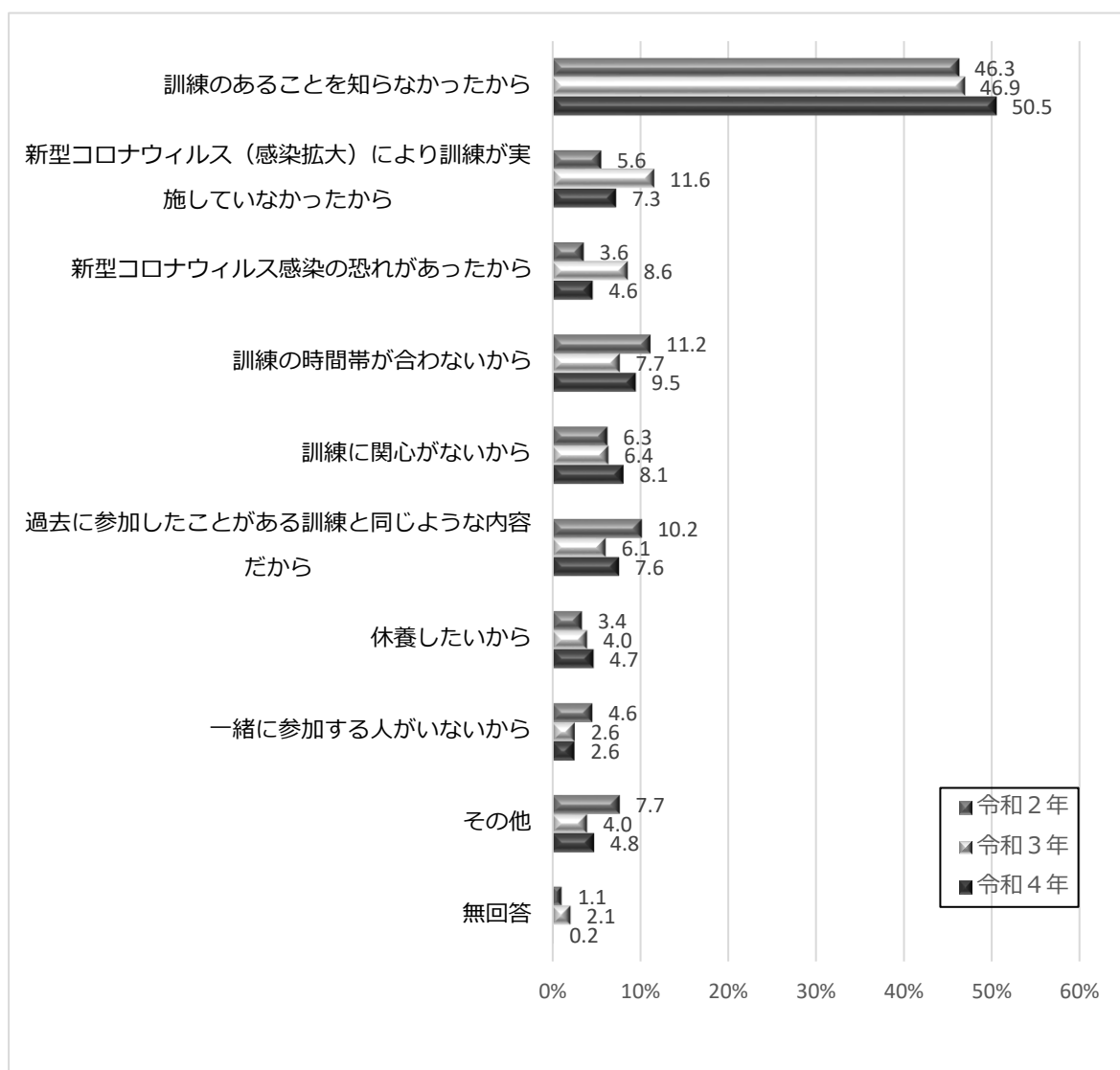
	令和2年 (n=1,772)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,678)
どれも体験・参加したことがない	67.9	73.1	71.9
避難訓練	21.4	16.7	18.1
消火訓練	13.4	9.0	8.4
応急救護訓練（A E Dの取扱い、心臓マッサージなど）	8.4	6.6	6.4
地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）	4.0	2.2	3.0
インターネットや動画を活用したリモート防災学習※	-	1.9	3.8
防災講演会、座談会、シンポジウムなど	1.9	1.7	1.3
V R防災体験車による災害疑似体験	0.8	0.9	0.5
救出・救助訓練	1.2	0.5	0.8
水災に関する訓練	0.6	0.5	0.7
その他	1.6	1.5	1.5

(※)は令和3年からの選択肢



Q11 Q10で「どれも体験・参加したことがない」を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

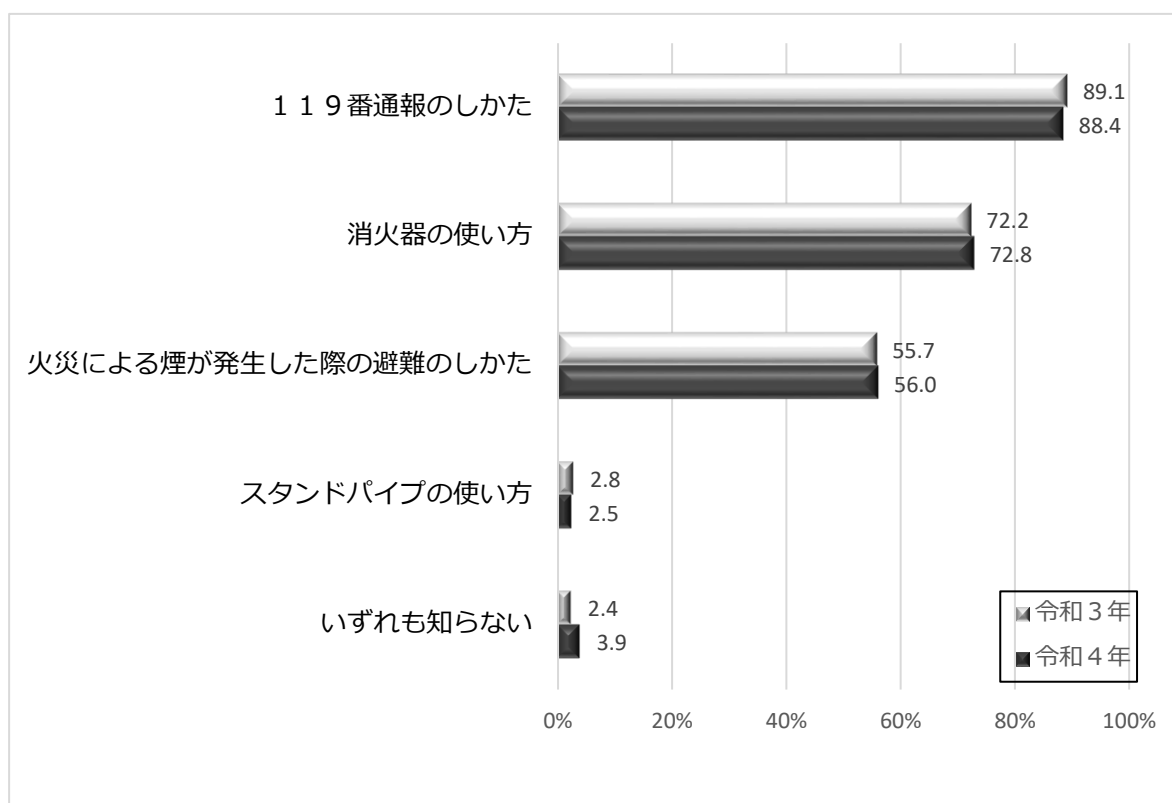
	令和2年 (n=1,204)	令和3年 (n=1,370)	令和4年 (n=1,207)
訓練のあることを知らなかったから	46.3	46.9	50.5
新型コロナウイルスにより訓練が実施していなかったから	5.6	11.6	7.3
新型コロナウイルス感染の恐れがあったから	3.6	8.6	4.6
訓練の時間帯が合わないから	11.2	7.7	9.5
訓練に関心がないから	6.3	6.4	8.1
過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから	10.2	6.1	7.6
休養したいから	3.4	4.0	4.7
一緒に参加する人がいないから	4.6	2.6	2.6
その他	7.7	4.0	4.8
無回答	1.1	2.1	0.2



Q12 あなたが知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,674)
119番通報のしかた	89.1	88.4
消火器の使い方	72.2	72.8
火災による煙が発生した際の避難のしかた	55.7	56.0
スタンドパイプの使い方	2.8	2.5
いずれも知らない	2.4	3.9

(※) 本設問は令和3年からの設問



【参考：訓練参加有無 (Q10) 毎の集計】

	令和3年		令和4年	
	消火訓練参加者 n=168	防火防災訓練 未参加者 n=1,370	消火訓練参加者 n=141	防火防災訓練 未参加者 n=1,207
「消火器の使い方」知っている	94.6	68.1	95.0	67.6

	避難訓練参加者 n=313	防火防災訓練 未参加者 n=1,370	避難訓練参加者 n=303	防火防災訓練 未参加者 n=1,207
	「避難のしかた」知っている	64.5	53.1	65.0

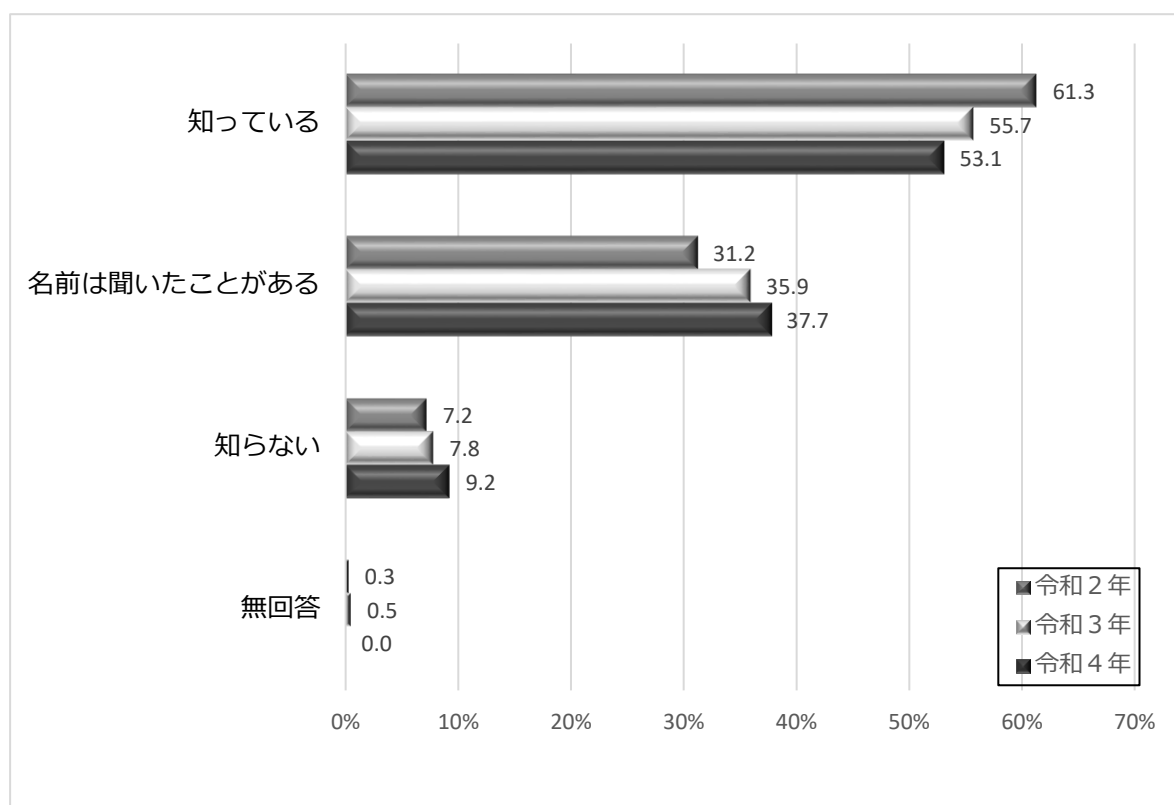
(4) 消防団に関すること

■ 消防団について

Q13 消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

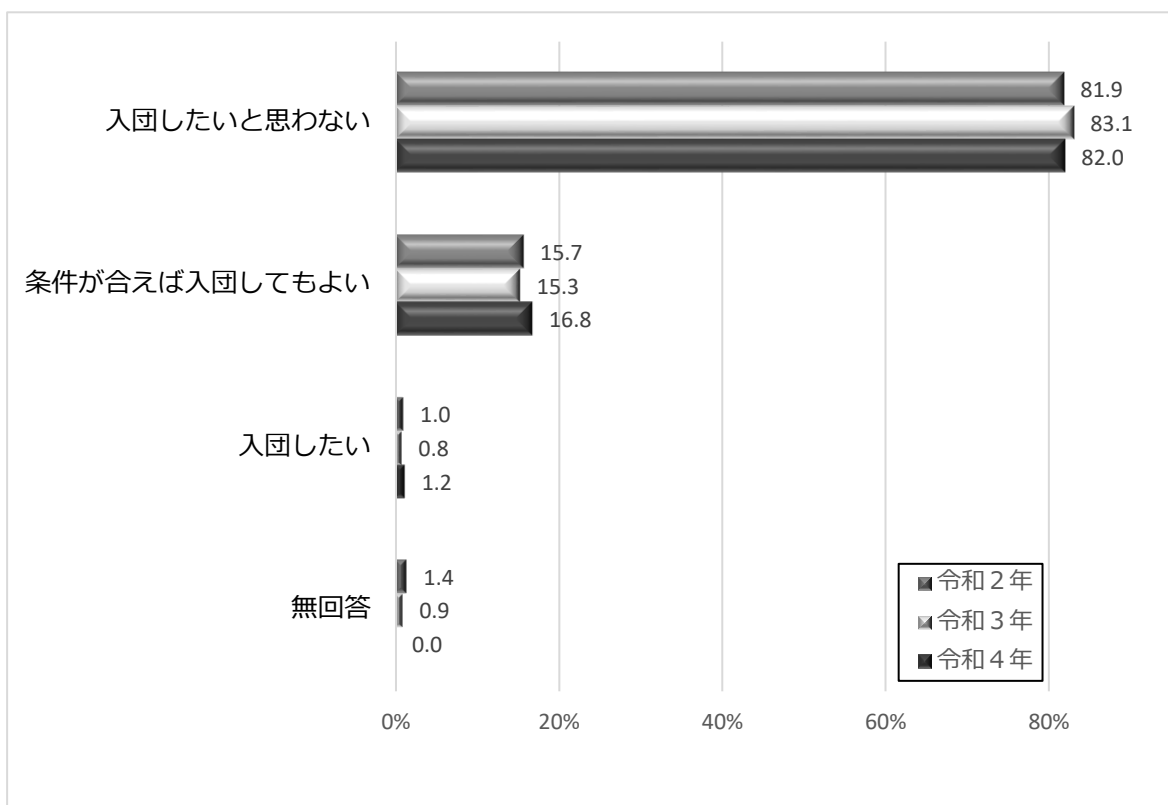
※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,679)
知っている	61.3	55.7	53.1
名前は聞いたことがある	31.2	35.9	37.7
知らない	7.2	7.8	9.2
無回答	0.3	0.5	0.0



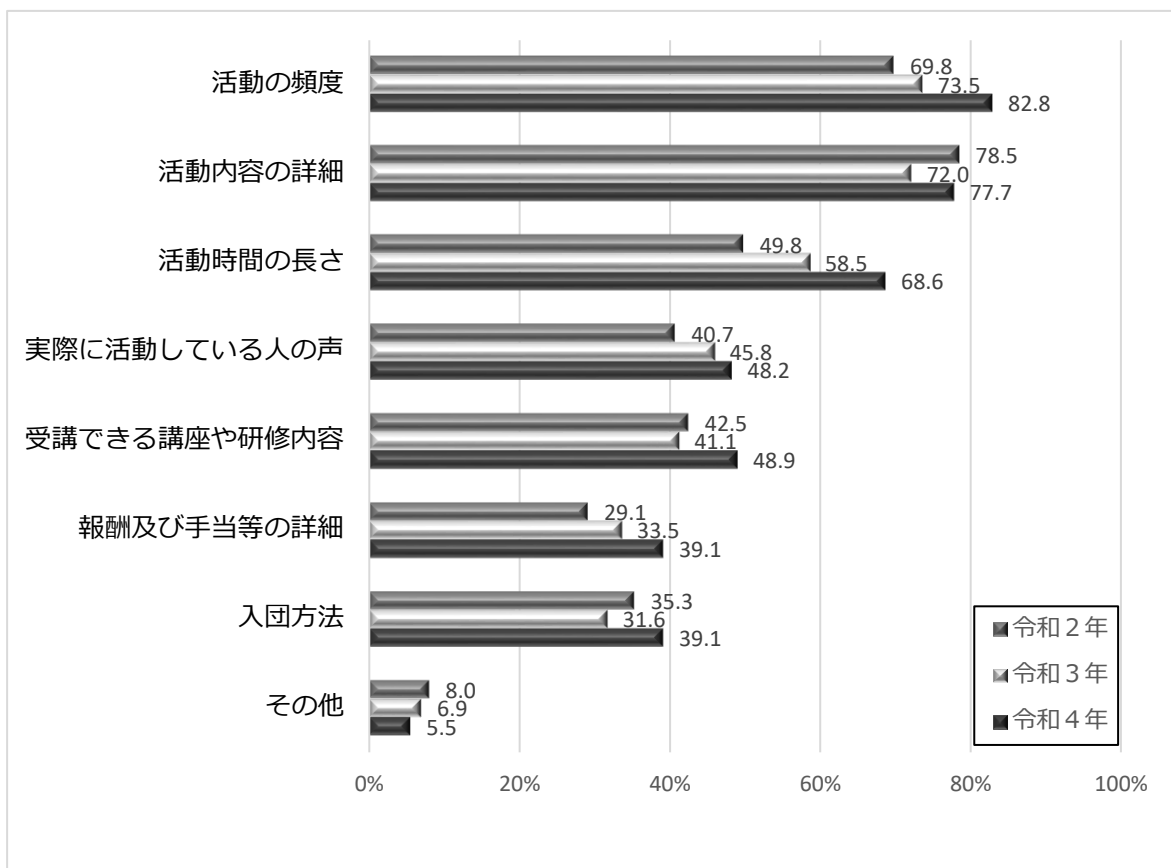
Q14 Q12で「知っている」又は「名前は聞いたことがある」を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和2年 (n=1,650)	令和3年 (n=1,717)	令和4年 (n=1,524)
入団したいと思わない	81.9	83.1	82.0
条件が合えば入団してもよい	15.7	15.3	16.8
入団したい	1.0	0.8	1.2
無回答	1.4	0.9	0.0



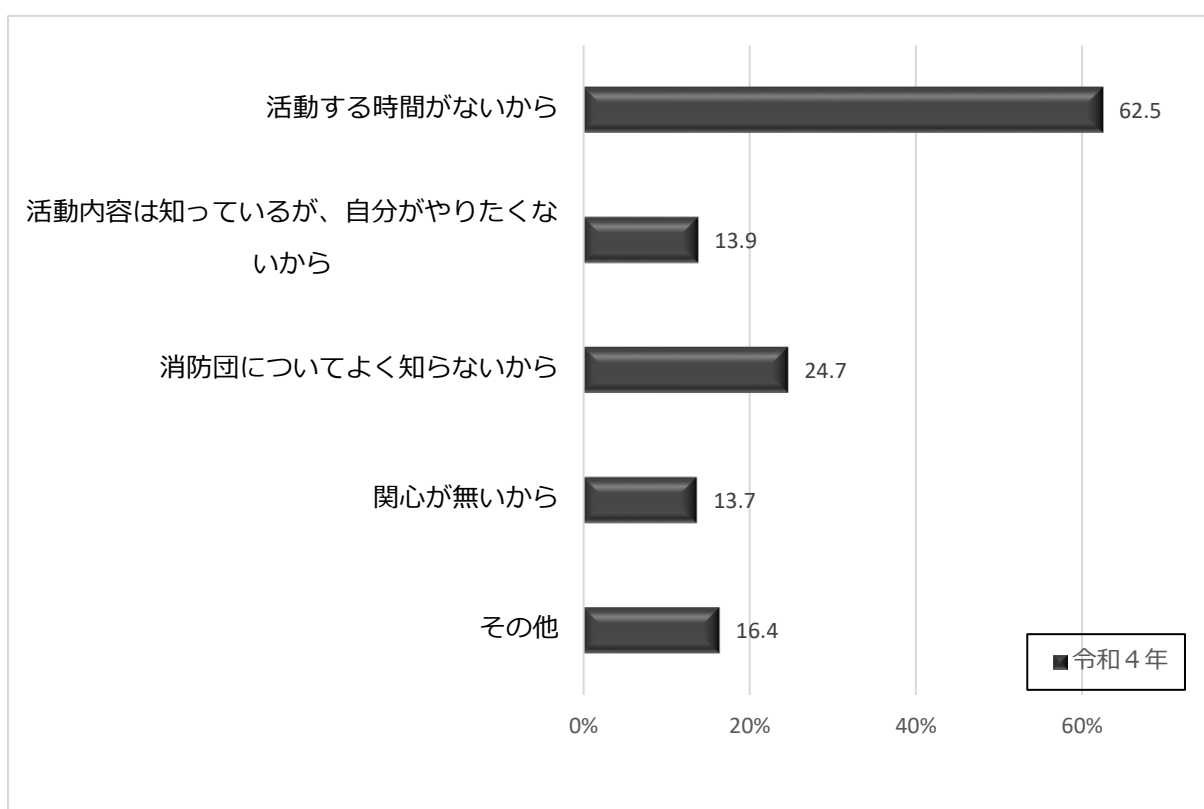
Q15 Q14 で「入団したい」又は「条件が合えば入団してもよい」を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するとしたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和2年 (n=275)	令和3年 (n=275)	令和4年 (n=274)
活動の頻度	69.8	73.5	82.8
活動内容の詳細	78.5	72.0	77.7
活動時間の長さ	49.8	58.5	68.6
実際に活動している人の声	40.7	45.8	48.2
受講できる講座や研修内容	42.5	41.1	48.9
報酬及び手当等の詳細	29.1	33.5	39.1
入団方法	35.3	31.6	39.1
その他	8.0	6.9	5.5



Q16 Q14 で「入団したいと思わない」を選んだ方にお聞きします。消防団に入団したいと思わない理由を次の中からいくつかでも選んでください。(複数回答可)

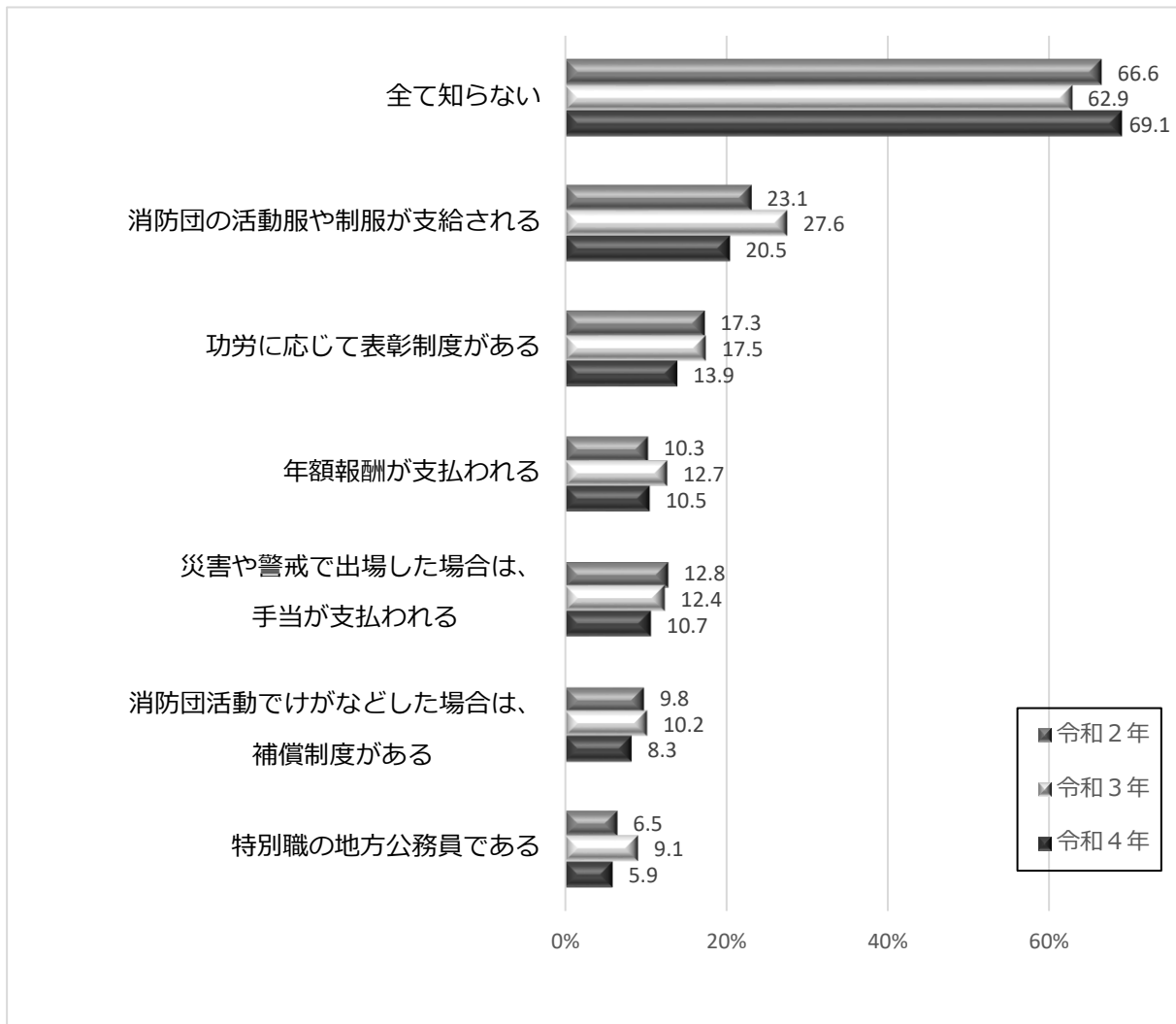
	令和4年 (n=1,249)
活動する時間がないから	62.5
活動内容は知っているが、自分がやりたくないから	13.9
消防団についてよく知らないから	24.7
関心が無いから	13.7
その他	16.4



Q17 次の内容は消防団員の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつかでも選んでください。(複数回答可)

	令和2年 (n=1,761)	令和3年 (n=275) ※	令和4年 (n=1,520)
全て知らない	66.6	62.9	69.1
消防団の活動服や制服が支給される	23.1	27.6	20.5
功労に応じて表彰制度がある	17.3	17.5	13.9
年額報酬が支払われる	10.3	12.7	10.5
災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる	12.8	12.4	10.7
消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある	9.8	10.2	8.3
特別職の地方公務員である	6.5	9.1	5.9

(※) 令和3年はQ14で「入団したい」または「条件が合えば入団してもよい」を選んだ方に限り回答

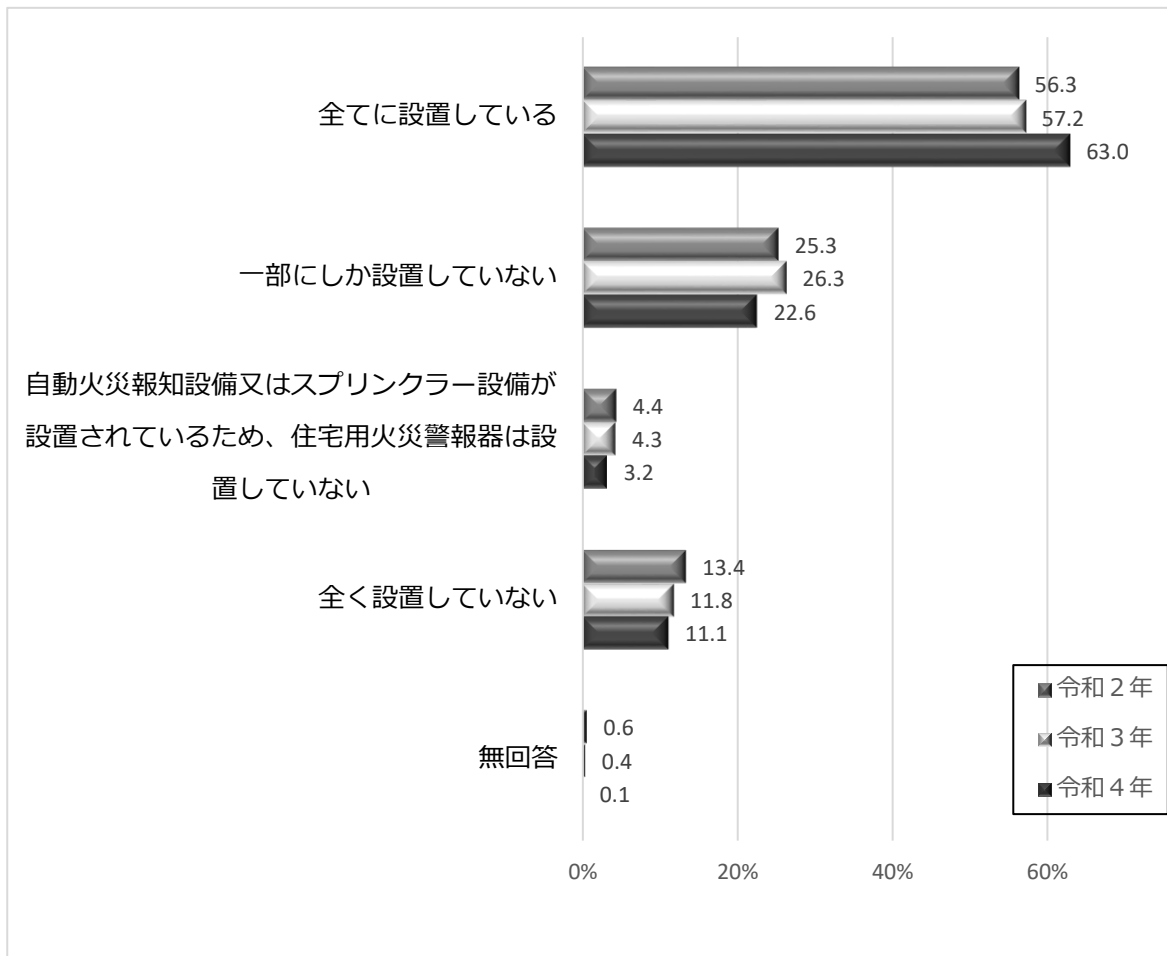


(5) 火災予防に関すること

■住宅用火災警報器について

Q18 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

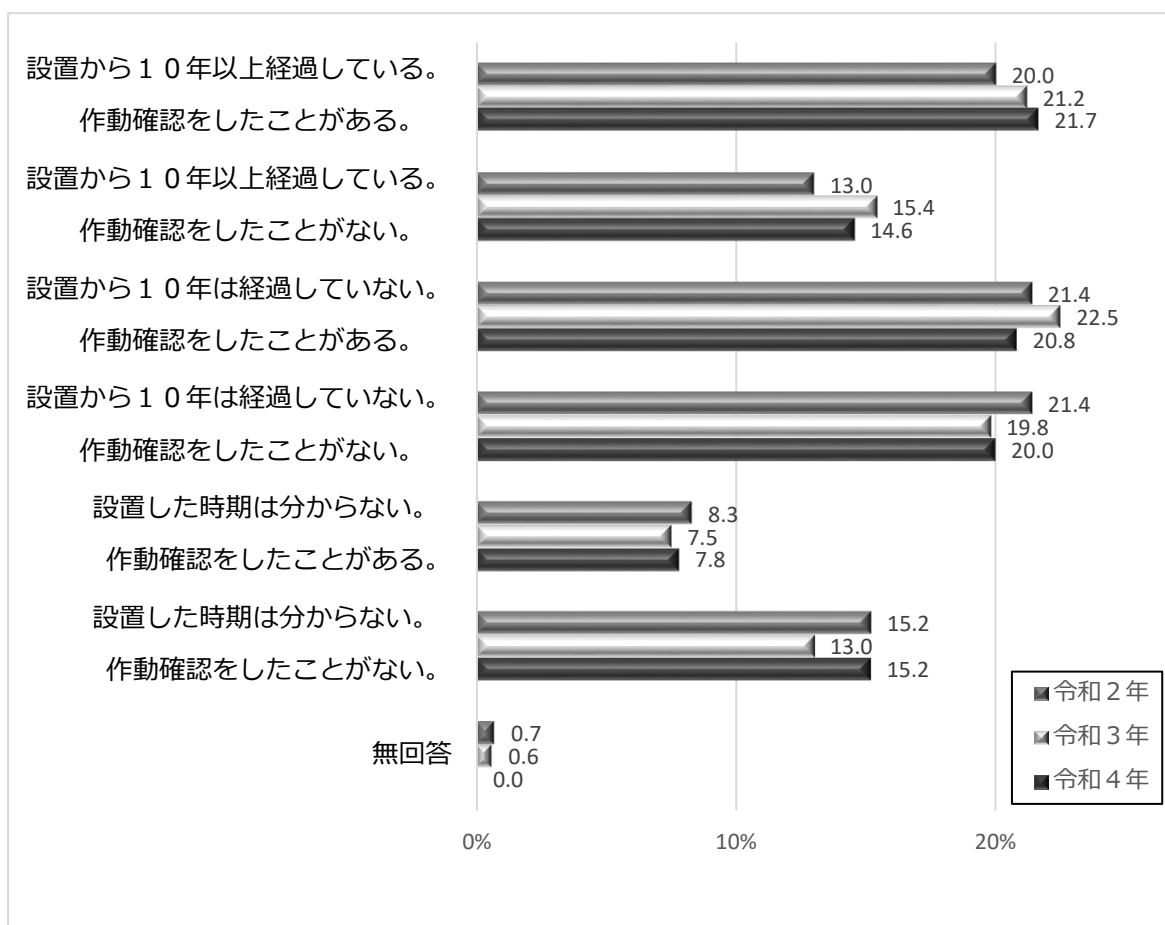
	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,677)
全てに設置している	56.3	57.2	63.0
一部にしか設置していない	25.3	26.3	22.6
自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない	4.4	4.3	3.2
全く設置していない	13.4	11.8	11.1
無回答	0.6	0.4	0.1



Q19 あなたはこれまでお住まいの住宅用火災警報器の作動確認※を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。(Q17で「全てに設置している」又は「一部にしか設置していない」方が対象)

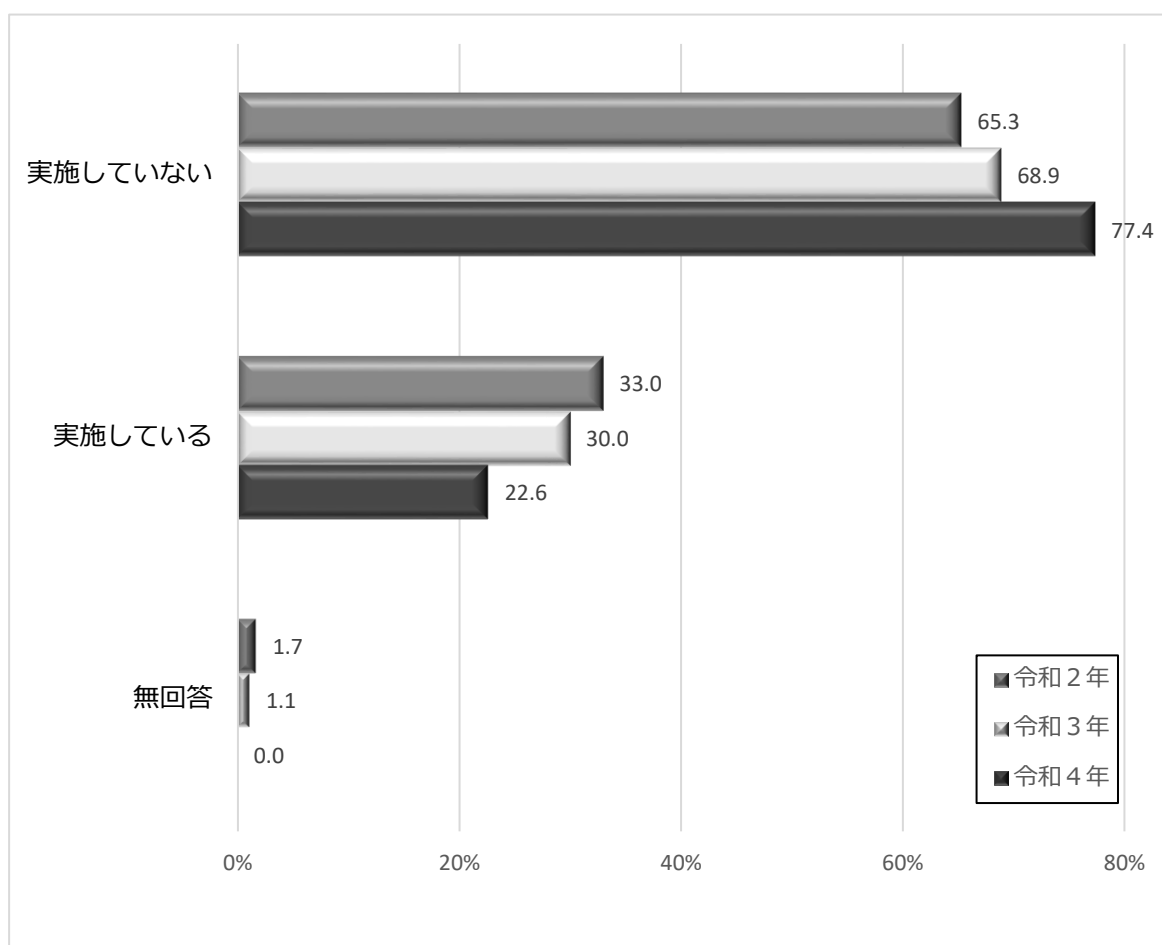
※作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを言います。

	令和2年 (n=1,456)	令和3年 (n=1,565)	令和4年 (n=1,436)
設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがある。	20.0	21.2	21.7
設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがない。	13.0	15.4	14.6
設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがある。	21.4	22.5	20.8
設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがない。	21.4	19.8	20.0
設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。	8.3	7.5	7.8
設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。	15.2	13.0	15.2
無回答	0.7	0.6	0.0



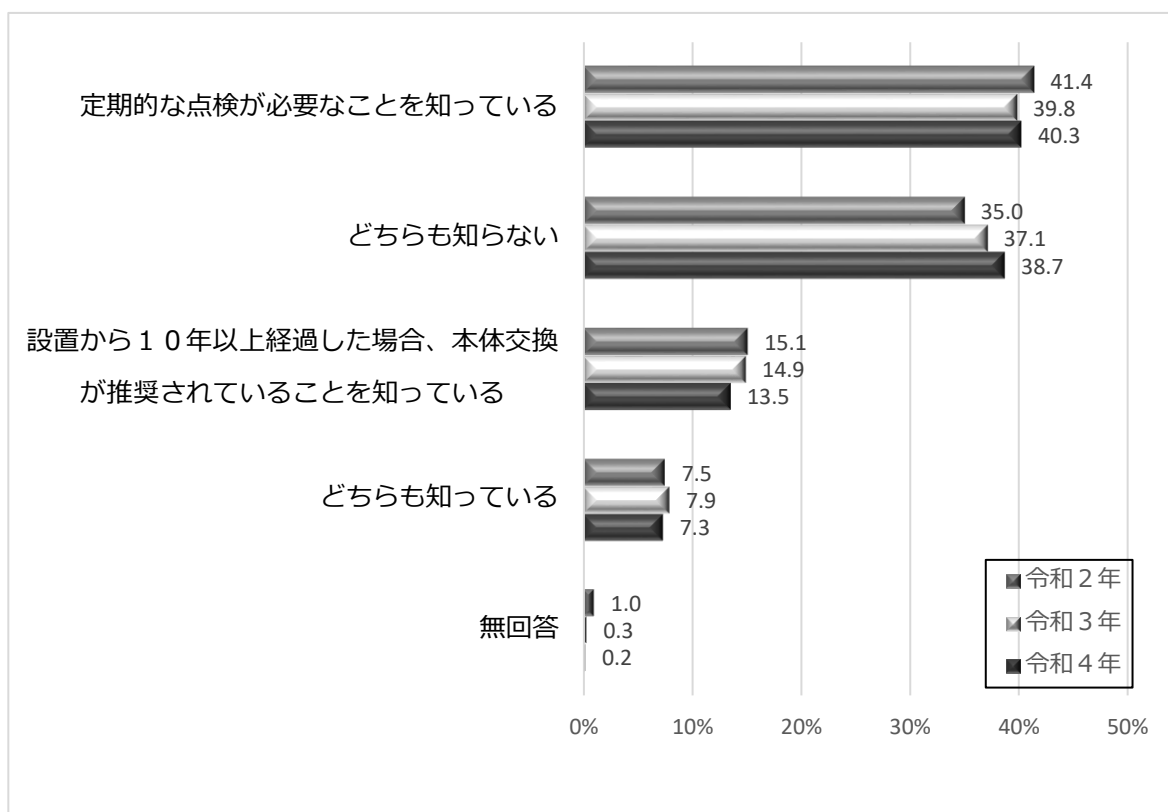
Q20 住宅用火災警報器の本体交換※の実施状況について、次の中から1つだけ選んでください。（Q17で「全てに設置している」又は「一部にしか設置していない」方が対象）
 ※住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換を推奨しています。また、正常に作動しているか定期的な点検をすることも大切です。

	令和2年 (n=1,456)	令和3年 (n=1,565)	令和4年 (n=1,436)
実施していない	65.3	68.9	77.4
実施している	33.0	30.0	22.6
無回答	1.7	1.1	0.0



Q21 住宅用火災警報器の本体交換や定期的な点検について知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

	令和2年 (n=1,784)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,679)
定期的な点検が必要なことを知っている	41.4	39.8	40.3
どちらも知らない	35.0	37.1	38.7
設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている	15.1	14.9	13.5
どちらも知っている	7.5	7.9	7.3
無回答	1.0	0.3	0.2

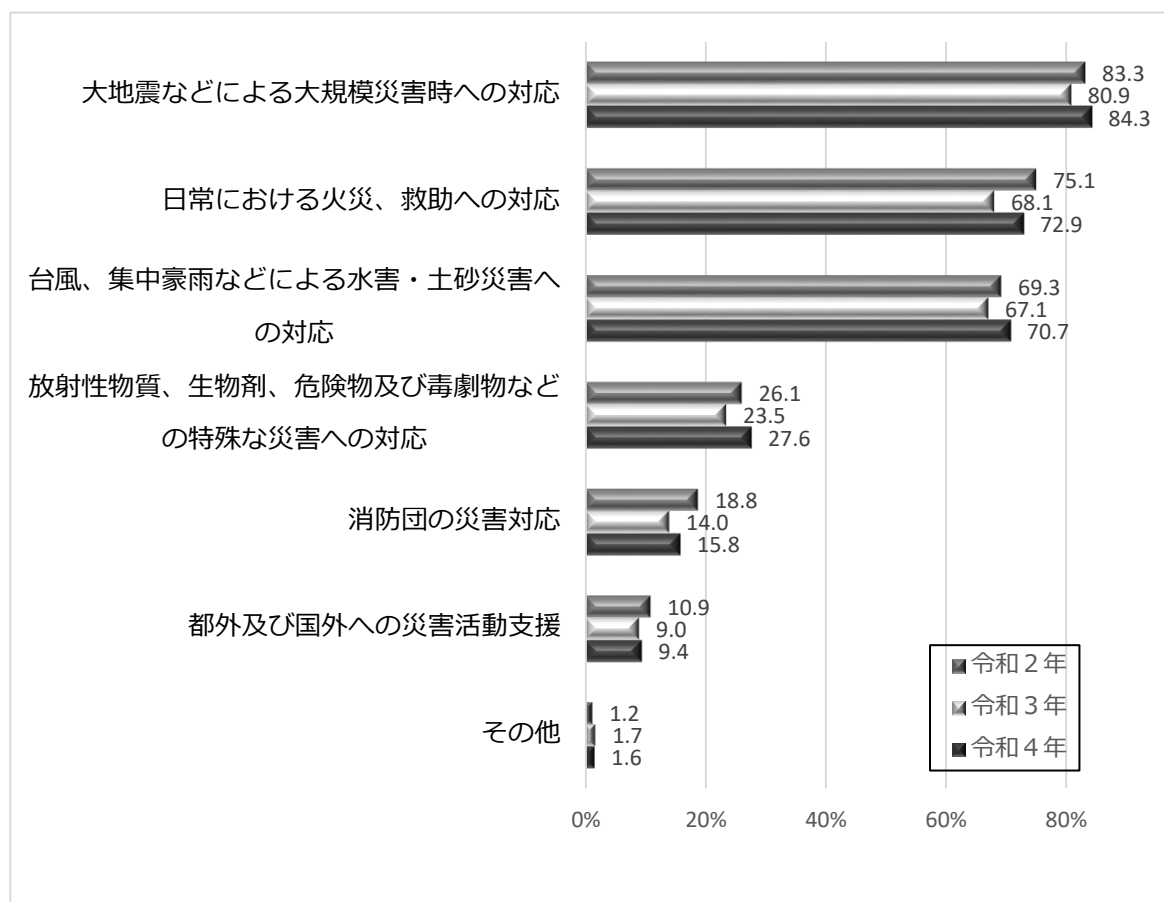


(6) 消防行政に対する要望

Q22 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

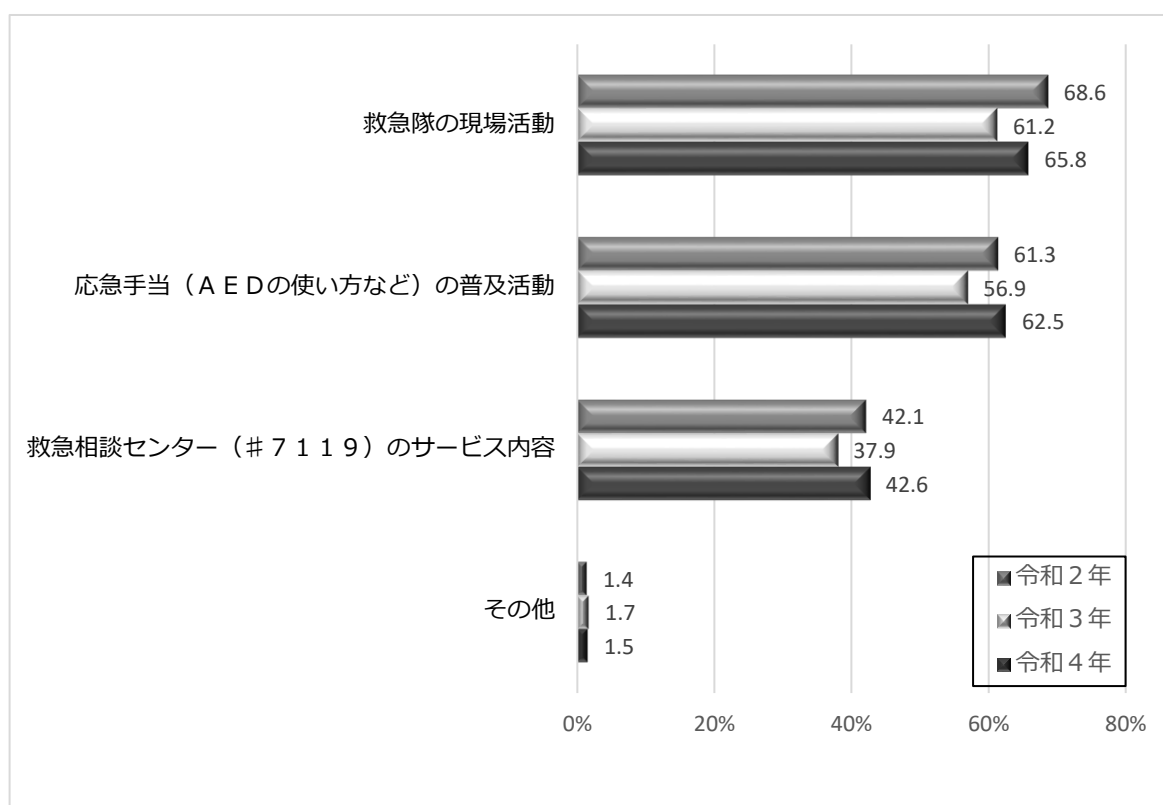
A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

	令和2年 (n=1,685)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,647)
大地震などによる大規模災害時への対応	83.3	80.9	84.3
日常における火災、救助への対応	75.1	68.1	72.9
台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応	69.3	67.1	70.7
放射性物質、生物剤、危険物及び毒劇物などの特殊な災害への対応	26.1	23.5	27.6
消防団の災害対応	18.8	14.0	15.8
都外及び国外への災害活動支援	10.9	9.0	9.4
その他	1.2	1.7	1.6



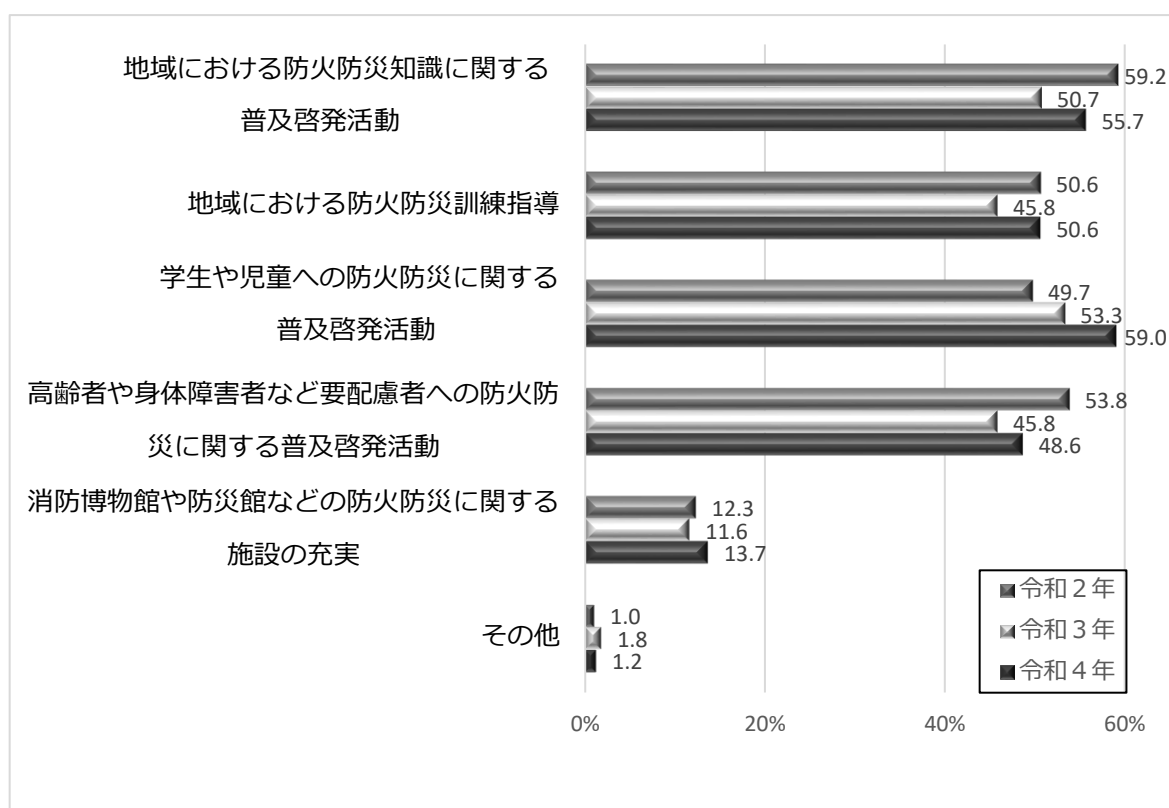
B 東京消防庁の救急業務に関する取組

	令和2年 (n=1,665)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,637)
救急隊の現場活動	68.6	61.2	65.8
応急手当（AEDの使い方など）の普及活動	61.3	56.9	62.5
救急相談センター（#7119）のサービス内容	42.1	37.9	42.6
その他	1.4	1.7	1.5



C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

	令和2年 (n=1,673)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,626)
地域における防火防災知識に関する普及啓発活動	59.2	50.7	55.7
地域における防火防災訓練指導	50.6	45.8	50.6
学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動	49.7	53.3	59.0
高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動	53.8	45.8	48.6
消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実	12.3	11.6	13.7
その他	1.0	1.8	1.2



D 東京消防庁の火災予防に関する取組

	令和2年 (n=1,670)	令和3年 (n=1,874)	令和4年 (n=1,635)
暮らしの中の火災事例に関する情報提供	56.6	54.5	58.2
火災発生時の危険性が高い施設の公表	56.5	52.5	55.4
不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制	48.4	44.3	50.6
事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導	44.1	37.5	45.7
防火上優良であると認定された建物の表示	28.5	28.8	29.5
その他	1.0	1.3	1.0

